



festival hall 4月10日オープン!

フェスティバルタワーが完成し、フェスティバルホールへ出向している大阪技術部濱さんにお話を伺いました。

現在は新しい備品整理とか、新しい平台にロゴを入れたり、ボタンに間数バミリをつけたりと、OPENにむけて必要であろうものを準備整理し、他には使い勝手がいいように設備改善の要望を出したり、操作盤の使用方法を勉強したりしています。

僕がツアー等で、お世話になったアーティストの方々に、ホール管理するにあたり、ご挨拶に回ったのですが、皆さん「フェスに行けば会えるのですね。」とか、「フェスでやります。」「楽しみです。」とか、「何度もフェスで出来る様に、こちらも頑張ります。」と仰って下さいました。嬉しい反面、切なかったです。他にもたくさんの方々が、色んな期待をされてると思います。

この業界の方は、厳しい方が多い。正直、その期待に添えるかどうかは、その方達しか判らない。フェスティバルタワーと云う建物があって、その中で制限やその他、沢山の条件の中、出来たホールです。何を云おうが、もう出来上がってます。取り敢えず、来て頂いて、良いホールに出来上がったと云っていただけるかは、あとは僕等の仕事ですかな…。

旧フェスティバルホールの備品や名残、面影等が所々にあります。見付けて頂くのも、嬉しいかも!!



劇場へと続く赤い階段を上りながらワクワクは最高潮へ!!

知っているようで
実は知らない



消火器のこと



ますます寒さも厳しくなってきました今日このごろ、暖房器具の使用や、乾燥した空気、もし火災が起きてしまったら。そこで、万が一の為の消火器です。一般的によく見る消火器はABC加圧式粉末消火器という種類です。A=普通火災(紙、木、繊維、樹脂など、主として固形物が燃える火災) B=油火災(油、ガソリンによる火災) C=電気火災(電気設備の火災) の事を指しています。消火器に3種類の円型マークで表示されています。水だけではダメ? 冷却作用で消火する水に対して消火器には、空気を遮断する窒息作用 燃焼の反応をおさえる抑制作用を持っているからなのです。特にガソリン、油類(シンナーも含む)は水よりも軽いので、燃えている油類が、注水によって流れ出し、かえって火災が拡大してしまう恐れがあります。扱う事はまず有りませんが、危険物第3類の物質(カリウム、ナトリウムなど)は禁水性といって水と作用して発熱し、可燃性ガスを発生して発火する。という特性を持っているものも存在します。

(消火方法は乾燥砂をかけて窒息消火)

一般の住宅に消火器設置の義務はありませんが、防火対象物(特定、不特定多数の人に利用されている建造物等)は設置が義務付けられています。消火器の耐用年数はメーカーによると

[保管状況が良い場合で8年を目安に(住宅用は5年) サビ、キズ、凹みの有るものは8年以内であっても新しいものと交換して下さい]との事です。

万が一の時に使用出来るように日頃からの状態チェックが大事です。